

| | |
|------------------|---|
| Title | はじめに |
| Sub Title | |
| Author | 神成, 文彦(Kannari, Fumihiko) |
| Publisher | 慶應義塾大学 博士課程教育リーディングプログラム オールラウンド型「超成熟社会発展のサイエンス」 |
| Publication year | 2023 |
| Jtitle | リーディングプログラムの軌跡 (2022.) |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | |
| Genre | Research Paper |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12005003-00002023--002 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

はじめに

神成 文彦

リーディングプログラム（オールラウンド型）
コーディネータ 理工学部教授



慶應義塾は、新しい博士人財育成を目指し、11年前に文部科学省支援の下、本リーディングプログラムを開始しました。3年間で文理に跨る2つの修士号を取得した上で博士学位を取得する仕組みのもと、主専攻の学術基盤の枠を大きく超えることで問題意識、価値観を拓けるとともに、5年間にわたる産業界メンターによる密度の高い指導により、社会課題解決に挑戦できる人財を育成するという、極めて野心的なプログラムを全学的に展開して参りました。ご関係の皆様のご尽力のお蔭で、これまで修了した37名の学生たちは、今まで新卒博士の職場ではなかった企業ビジネス部門や中央省庁等に就職し、すでに高い評価が得られています。また、2名の修了生が国連において仕事を始めました。一方で、プログラム修了生と現役生、および過去にお世話になったメンターとの交流も密に維持できており、有益なアドバイスが寄せられています。

2018年3月末で7年間の文部科学省支援が終了しましたが、こうした大きな成果が後押しとなり、慶應義塾は、新しい変革が求められる今こそ、未来社会創造をプロデュースできる文理融合分野に長けたリーダーを育成するため、独自の高度博士人財育成システムを構築し、文系・理系を越えて分野横断的領域で活躍する人材育成の意義を広く社会に発信すべきであるとの考えから、独自の予算でこの高度博士人財育成プログラムをそのまま継続し、2023年3月末には最終学年の7期生が修了します。文部科学省支援期間に比べて、海外派遣などの経費がかさむ教育メニューは殆ど実施することができておりませんが、修了生は所属研究科のカリキュラムに加えて、本プログラムが独自に用意した育成メニューを卓越したスケジュール管理能力と集中力で完ぺきにこなしてきました。

このように本プログラムが期待を超えた成果を生んで発展できたことは、文部科学省の7年もの長きにわたるご支援、並びに、産業界・自治体からご参加いただいたボード会議のメンバー、メンターの皆様をはじめとした学外の関係者、そして主専攻・副専攻の指導教員、プログラム運営委員を始めとする学内の関係者のご理解とご指導のお蔭であります。皆様に厚くお礼を申し上げます。慶應義塾における高度博士人財育成は、2023年度以降は形を変えて実施されていくこととなりますが、引き続き本学の高度博士人財育成のために、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いたします。